



▶ 12月2日（日）に開かれた住民団体との共同開催イベント「第7回 水辺の匠 クリスマスイベント」において、防災や避難行動に関するクイズや洗堰見学ツアー、浸水を疑似体験できるVR装置など、「水防災」をテーマとして、来場者に学び、体験してもらったイベントを実施しました。

- 日時：平成30年12月2日（日）9：00～15：00
- 場所：水のめぐみ館「アクア琵琶」, 瀬田川洗堰など（滋賀県大津市）
- イベントへの来場者総数： 約1,200人



滋賀県大津市



野洲川が氾濫したときのイメージを疑似体験



野洲駅前の浸水イメージ画像



普段行けない場所で洗堰の管理などを説明



クイズ形式で子どもたちと水防災を学ぶ



野洲川放水路の歴史写真を展示

感想

- VRで洪水の様子をみると地図で見るよりも実感できた。
- 身近な場所の浸水イメージは、迫力があってこわかった。
- 野洲市で5年前に浸水したことを知らなかった。
- 放流している近くはすごい音で迫力があつた。



【水防災意識社会再構築】大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、自ら行動し、地域の防災力を高め、社会経済被害を最小化するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

【問合せ先】国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所調査課

☎520-2279大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0867



来年2019年は
野洲川放水路通水40年！